

ここが聞きたい!



三田 敏和 議員

伊良原ダム 出資金問題は

問 伊良原ダム建設の経緯は。

答〔町長〕

将来の水需要を想定し、平成3年当時の奥田八二福岡県知事ら地元(田川郡・築上郡)で伊良原ダム建設工事の基本協定を行い、平成13年、平成21年と協定の一部改定がなされ、工事費も678億円と膨れ、完成も平成31年とずれ込んでいます。今後の増加はありません。

問 超過に対する負担分は

答〔建設課長〕

当初の事業に対し93億円の増加が生じ、上毛町は829万円の負担増になります。

問 ダム完成後、上毛町の水量はどれくらい予定しているのか。

答〔建設課長〕

400t/日、受水されず。

問 給水開始時期が延びたことによる不足分はどうか対応されるのか。

答〔建設課長〕

水道企業団として平成25年度より、各自治体の水需要状況をみて不足分はつなぎ水源が確保できることになっていきます。

問 緊急雇用対策は

答〔建設課長〕

各自治体で雇用創出を企画しているが、上毛町独自策はあるか。

問 完全米飯給食の対応は

答〔教務課長〕

21年度より米飯給食を4回/週にした経緯は、合併前それぞれ3回・4回と違っていたので、合併

問 米の消費拡大から完全米飯給食は出来ないか。

答〔教育長〕

あと1日ですが、地元の米を活用したパンにしてはどうか検討中です。食育のまちづくり条例にも合致します。

問 定住自立圏構想の考え

答〔町長〕

総務省が新に地方自治体のあり方として、5万人規模の市を中心とした近隣市町村が地域住民の福祉向上のため、利便性等を考慮して共同事業を推進する制度です。

問 中津市民病院を核とする医療圏と聞かれますが、診療所を含む構想は考えられないか。

答〔健康福祉課長〕

小児救急医療が一つの連携事業案として出されているが、その他連携があるのではないかと、本町としても前向きに取り組む考えです。



△中津市民病院

さわやか市の運営は

問 さわやか市の管理費改定はどうか協議したのか。

答〔企画情報課長〕

町としては、生産者、出荷者の合意を踏まえ、生産者・町民にとって有益につながり、大平楽の収益が上がるものであれば、協力していきたい。関係者との合意が得られた後、町との正式協議を行います。

問 梅雨が心配だが仮設パイプをいつ撤去するのか。

答〔建設課長〕

左岸下部工事を終え、4月上旬に撤去する間いています。右岸は10月頃の予定です。

問 迂回路の路面状態が悪く危険である。対策が必要では。

答〔建設課長〕

承知しているが再度確認し、県と協議し路面の手直しをお願いします。最終的には舗装を考えています。

地方自治における議会

問 地方分権の今後を見据えて、地方議会はどうかあるべきと考えるか。

答〔町長〕

今日の地方分権の委譲を考えてみますと、行政も議会の併用もそう簡単にできるものではないと考えています。権限委譲といいますが、財政を伴った大幅な権限委譲がない限りは、なかなか地方自治体も議会も含めて、併用は難しいと思います。

問 上毛町についてはどう考えていますか。

答〔町長〕

本町の行政改革を推進していかなければならないので、議会の皆さんには



宮崎 昌宗 議員

地域づくり活動事業

問 今年度の総括・成果・課題は。

答〔企画情報課長〕

総括としては3月22日に今年度活動した団体の活動報告の発表会を行う予定で、成果・課題は、その成果発表会を踏まえて、これからの対策を考えていきます。

問 今後の事業展開は。

答〔企画情報課長〕

既存団体のさらなるステップアップのための事業、新規団体の掘り起こし、それから活動拠点の発掘を考えています。また、小学校における地域に対して児童たちが自分ができることができるのか、という考えを導き出せるような子どもワークショップなどについて取り組んでまいります。

問 自主自立のまちづくりを目指す北海道の芽室町が、協働のまちづくりとして町民の協力を得る機会が増えていて、全町民を対象に町のほうで損害保険に入っている。本町も町民に安心してボランティアや各種活動ができるよう導入できないか。

答〔企画情報課長〕

芽室町の取り組みは素晴らしいことだと思います。今後こういった活動の広がりを見極め、検討する余地はあると思います。

西友枝小学校統合問題

問 統合後、児童の友枝小学校への通学手段はどうなるのか。

答〔教務課長〕

通学方法については町が今現在運行しているコミュニティバスがジャンボタクシーのいずれかの利用を考えています。

問 廃校後、豊前市のみみじ学舎のように木造校舎を生かした活用をして校舎を残せないか。

答〔教務課長〕



▲西友枝小学校